

6 小学校 国語A（知識）について（全12問）

(1) 概要

本市の平均正答率は、全国の平均正答率とほぼ同等となっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

話す・聞く

□相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。

書く

□自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。

読む

□目的に応じて必要な情報を捉える。
□登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

■文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
■相手や場面に応じて適切に敬語を使う。
■漢字を文の中で正しく使う。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【話す・聞く】

- ・伝える目的を明確にして、相手や目的、場面、状況に応じて説明の仕方を工夫することが重要です。説明の仕方の工夫として、言葉を置き換える、内容や順序を考える、相手の理解の状況を確認しながら説明するなどが考えられます。
- ・授業では、相手や目的、場面、状況について具体的に想定し、工夫の仕方を比較したり吟味したりすることで、理解を深めることができます。

【書く】

- ・物語を書く際には、時間の流れや内容、出来事の順序などに着目して、文章全体の構成の効果を考えることが大切です。例えば、現在と過去を行き来して書く構成、出来事に変化を加えながら繰り返して書く構成などが考えられます。
- ・授業では、読むことの指導との関連を図ることが有効です。複数の物語を読み、それぞれの作品の構成とその効果を分析することで構成例を学び、児童の表現したいという思いを大切にしながら、創造的に表現することの楽しさを実感することができるよう指導することが重要です。

【読む】

- ・目的に応じて分析的に読み、課題を解決するために、適切な段落や部分を選び、情報を取り出しながら読むことができるように指導します。目的と内容を具体的に設定し、必要な情報の中心となる語や文を捉えて読む学習過程が大切です。
- ・登場人物の心情は、行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されていることを捉えられるよう指導します。児童が心に残った叙述について理由を考えながら共有することで、象徴性や暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目できるようにすることが大切です。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・主述の照応、敬語、漢字ともに文脈の中での使い分けに着目し、日常生活の中で適切に使うことができるように指導することが重要です。

7 小学校 国語B（活用）について（全8問）

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国の平均正答率より、高い結果となっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

話す・聞く

- 話合いの参加者として、質問の意図を捉える。
- 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

書く

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- 推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。

読む

- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【話す・聞く】

- ・司会者、提案者、参加者などは、それぞれの役割を理解し、話題に沿って発言しているか、その発言は話合いの流れを踏まえているかなどの観点に基づいて適時判断しながら話合いを進めるようにすることが大切です。
- ・授業では、互いの立場や意図をはっきりさせながら、話合い活動の場を多く経験させ、自分たちの話合い活動を振り返る学習を行うことが有効です。

【書く】

- ・推薦文では、目的に応じて推薦する事物のよさを捉え、推薦理由を明確にして書くことが大切です。そのためには、構成を工夫したり、他の物と比較して適切な内容を取り上げ、詳しく書いたりすることなどが考えられます。
- ・授業では、推薦する目的や意図、推薦する相手、推薦理由などを明確にした上で、文章全体の内容や構成を考えることが大切です。また、推薦する相手の立場に立って構成を考えることも大切です。

【読む】

- ・伝記を読んで、自分の考えをまとめるためには、描かれた人物の生き方について、自分が感銘を受けたり、心がひかれたりした行動や業績に関する叙述に着目しながら読むことが大切です。
- ・授業では、複数の伝記を比べて読んだり、自分の経験や考えなどと比べて心がひかれた理由を明確にしたりする学習が考えられます。

8 小学校 算数A（知識）について（全14問）

(1)概要

本市の平均正答率が、全国の平均正答率を少し上回っています。

(2)平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

数と計算	<input type="checkbox"/> 十進位取り記数法で表された、数の大小について理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 小数の除法の意味について理解し、それを適切に用いる。
量と測定	<input type="checkbox"/> 異種の二つの量の比べ方や表し方を理解する。 <input type="checkbox"/> 直角・2直角（ 180° ）を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 180° よりも大きい角の大きさを求める。
図形	<input type="checkbox"/> 空間の中にあるものの位置を表す。 <input checked="" type="checkbox"/> 直径の長さと言周の長さの関係について理解する。
数量関係	<input type="checkbox"/> 折れ線グラフから変化の特徴を読み取る。 <input checked="" type="checkbox"/> 除数で表す二つの数量の関係を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 百分率について理解する。

(3)全体を通しての考察と授業改善の方向性

【数と計算】

- ・十進位取り記数法で表された整数の大小の理解については良好ですが、小数を扱った問題の理解について課題がみられます。小数については、苦手意識をもつ児童が多いので、小数を整数に置き換えて考えたり、問題を解く前に答えの見当をつけたりすることが大切です。

【量と測定】

- ・単位量当たりの大きさを表や図を使って比較することはおおむね理解できていますが、それを除法の式に表したり商の意味を理解したりすることに課題があります。また、 180° より大きい角の大きさを求めることに課題が見られました。式で出てきた数値をもう一度吟味したり、図と解答を照らし合わせたりするなどの見直す習慣を定着させることが重要です。

【図形】

- ・空間の中にあるものの位置を表す問題が出題されたのは初めてでしたが、おおむね理解できています。直径の長さと言周の長さの関係についての理解に課題がみられます。身の回りにある円の直径や言周の長さを実測してみたり、図にかいてみたりするなどの数学的活動を通して理解を深めることが大切です。

【数量関係】

- ・割合が、比較量÷基準量で求められることの理解や、百分率を求めたりすることに課題がみられます。日常生活の具体的な場面を設定し、「○%増量」や「○%引き」などの数値を、基準量と比較量の関係を基に、割合として捉え直す活動が大切です。

9 小学校 算数B（活用）について（全10問）

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国の平均正答率より、やや高くなっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

数と計算

- 示された情報を基に、条件に合う事柄について適切に判断する。
- 示された数量の関係について、式に表したり説明したりする。

量と測定

- 示された情報を解釈し、結果を表に整理する。
- 表から条件にあてはまる数値を読み取る。

図形

- ある図形から、条件に合う図形を選択する。
- 図形について、言葉や式で構成要素や性質を基に記述する。

数量関係

- グラフの特徴を理解し、複数の観点から適切に判断する。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【数と計算】

- ・示された情報を基に、条件に合う事柄について判断したり、式に表したりすることはおおむね良好です。また、数量関係について説明することもできています。今後も日常生活の中から情報を整理し、グループでデータを考察したり説明したりする活動を行うことが大切です。

【量と測定】

- ・結果を表に整理することはできていますが、その結果から条件に合う事象を判断することに課題がみられます。事象の中に含まれる複数の情報を解釈し、適切な値を選択したり、その値が全ての条件に成り立つかを判断したりする活動が重要です。

【図形】

- ・特定の図形から、条件に合う図形を選択することはできていますが、その図形を基に構成要素や性質を言葉や式を用いて記述することに課題がみられます。図形の構成要素について、ペアで説明し合ったり、数学的に表現したりする活動を通して、図形の性質について深めることが大切です。

【数量関係】

- ・目的に合った適切な表やグラフを選択したり読み取ったりすることに課題がみられます。複数の観点で示された表やグラフが、全ての条件を満たしているかを見極める力が必要となります。全ての目的に合ったグラフかどうか、最適なグラフはどれかなど、グラフから読み取った情報を話し合い、考察する活動が大切です。

10 小学校 理科について（全16問）

(1) 概要

本市の平均正答率は、全国の平均正答率とほぼ同等となっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

物質	<input type="checkbox"/> 実験結果から言えることだけに言及した内容を記述する。 <input checked="" type="checkbox"/> 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な実験器具の操作方法を身に付けている。
エネルギー	<input type="checkbox"/> 電流の向きが変わる方法を実際の回路に適応する。 <input type="checkbox"/> 実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善する。 <input checked="" type="checkbox"/> 効率よく光電池が発電するための位置や向きを選ぶ。
生命	<input type="checkbox"/> 安全に留意しながら、生物を観察できる方法を構想する。 <input checked="" type="checkbox"/> 科学的な言葉や概念を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 関節の仕組みを模型に適応できる。
地球	<input type="checkbox"/> 科学的な言葉や概念を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> より妥当な考えをつくり出すために、複数の情報を関係付けながら分析して考察する。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【物質】

- ・「物が水に溶けても水と物とを合わせた重さは変わらない（質量保存）」を理解することに課題が見られます。重さを実際にはかり、定量的な見方を働かせたり、物が水に溶けるということを絵や図等を用いて表現することで質的・実体的な見方を働かせたりすることができるように意識して授業を改善することが大切です。

【エネルギー】

- ・既習の内容や生活経験を実際の自然や日常生活などに適応することに課題が見られます。学んだことを基に、ものづくりへ適応するような活動も大切ですが、その際には、ものづくりの目的や獲得した知識をどのように活用するかを明確にすることが重要です。またできたものが目的に合ったものになっているかを振り返るような学習活動を保証することも大切です。

【生命】

- ・科学的な言葉や概念を理解することに課題が見られます。科学的な言葉の意味を的確に捉えることができるように実際に自然の事物・現象に適応して説明する場面を設定することが大切です。指導に当たっては、児童が主体的に学習を進めると共に、学習をまとめる際には必ず科学的な言葉を使って説明することが重要です。またそういった学習場면을繰り返し設定することも必要です。

【地球】

- ・より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題が見られます。指導に当たっては、自分の予想にとらわれずに事実（条件と結果）と、その解釈（結果から考えられること）の両方を整理して説明するような学習活動が必要です。

1 1 中学校 国語 A (知識) について (全 3 2 問)

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国の平均正答率を少し上回っています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

話す・聞く

- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く。
- 話合いの話題や方向を捉える。

書く

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く。
- 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する。
- 段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする。

読む

- 文脈の中における語句の意味を理解する。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。
- 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる。
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 文脈に即して漢字を正しく書く。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。
- 古典に表れたものの見方や考え方を理解する。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【話す・聞く】

- ・スピーチや話合いを聞く際には、どんな目的で聞いているのかを常に意識し、項目を整理して聞く指導が大切です。話合いも同様に、課題の解決に向かう発言を検討する時間を学習活動に組み込んでいくことが効果的です。

【書く】

- ・伝えたい事実や意見を目的に応じて書く力が付いてきています。しかし、より効果的に読み手に伝えるために、どのような説明や具体例を加えたらよいかを話し合い、説得力のある文章にするための視点を生徒が獲得できるような指導が大切です。

【読む】

- ・登場人物の相互関係や描写に注意して読み、作品の内容を理解する設問は、昨年度に引き続き良好な結果です。
- ・説明的な文章を読む際には、段落相互の関係や文章全体におけるそれぞれの段落の役割を考えることで、より深い内容理解につながります。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・漢字を読むことに関しては、全国の平均正答率を上回っていますが、漢字を書くことに関しては習慣化を図り、文脈に即して正しく書くための指導が大切です。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題が見られました。「気になる言葉」を、実際に話や文章の中で活用することを目的とした指導が効果的です。気になる言葉を書き留め、どのように使うのか交流することで語感を磨き、語彙を豊かにすることにつながります。

12 中学校 国語B（活用）について（全9問）

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国の平均正答率とほぼ同等となっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

話す・聞く

- 質問の意図を捉える。
- 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する。
- 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す。

書く

- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く。
- 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く。

読む

- 文章の構成や展開について自分の考えをもつ。
- 登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てる。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【話す・聞く】

・話の内容と自分の考えを比較し、質問することを前提として学習指導計画を立てることが有効です。必要に応じて話し手に質問する内容を考えることは、全国の正答率を上回っていますが、聞き手の反応から話し手が理解の状況を捉えることには課題が残ります。話し手・聞き手以外にオブザーバーとしての観察者を置き、それぞれの立場から検討するといった相互評価につなげた学習活動が望まれます。

【書く】

・文章の構成や展開に着目しながら、目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くという設問は、読むことと書くことの領域が統合された設問です。無解答率、正答率ともに全国平均と比べて良好な結果ですが、他の質問に比べて正答率が極端に低いことが大きな課題です。情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動を定期的に学習に組み込む必要があります。

【読む】

・説明的な文章において、書き手は構成や展開に工夫をすることにより読み手の理解を促しています。説明的な文章を読む際に、それらの工夫を考える話し合い活動を通して内容理解につなげるような指導が効果的です。

・生徒の読書活動に関しては、説明的な文章が、生徒にとってより身近なものと感じられるよう、図書館指導員等と協働して学級文庫の選書に取り組むなど読書活動の充実が求められます。

1 3 中学校 数学 A (知識) について (全 3 6 問)

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国平均正答率より、やや高くなっています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

数と式	<input type="checkbox"/> 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 単項式どうしの除法の計算ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 数量の大小関係を不等式に表すことができる。
図形	<input type="checkbox"/> 半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> 証明の必要性と意味を理解している。
関数	<input type="checkbox"/> 一次関数 $y = ax + b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次関数の意味を理解している。
資料の活用	<input type="checkbox"/> 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【数と式】

・簡単な文字式の計算や、方程式を解くことはできていますが、生活場面の事象を等式や不等式で表すことに課題が見られます。文字に具体的な数をあてはめて、式の意味や関係を捉える活動が必要です。

【図形】

・図形の性質についての理解や、証明の必要性やその意味についての理解に課題があります。論理的な説明をもとに、図形の性質や証明された事柄を、複数の図形や場面で確かめる活動が必要です。

【関数】

・具体的な場面を一次関数に表したり、一次関数から x と y の値の変化を読み取ったりする力に課題があります。変数に具体的な数を代入し、変数の関係や変化の様子を表やグラフで確認することが大切です。

【資料の活用】

・中央値、最頻値、相対度数等の語句の意味についての理解に課題があります。それぞれの値がどのような場合に用いられる数なのかについて話し合ったり、それらの値を用いた分析を様々な事象の中で行ったりすることで理解を深めることが重要です。

14 中学校 数学B（活用）について（全14問）

(1) 概要

本市の平均正答率が、全国平均正答率を少し上回っています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

数と式	<input type="checkbox"/> 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。
図形	<input type="checkbox"/> 発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる。
関数	<input type="checkbox"/> グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
資料の活用	<input type="checkbox"/> 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【数と式】

・事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立てて説明する活動が必要です。そのために、文字式のもつ一般化できるという有用性を感じさせるとともに、例えば4の倍数が $4n$ (n は自然数)と表せること等を知識として獲得させることが重要です。

【図形】

・まず、図形の性質についての知識・理解を確かにするために、図形の証明問題の際に、その図形の性質を一つ一つ確認することが大切です。そして、証明するためにはどの性質が必要なのかについて議論する場が重要です。また、問題や図形を変えるだけでなく、一部の条件を変えた場合について、証明した文章のどの部分に影響があるかについて、思考する場が必要です。

【関数】

・数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。特にグラフや表といった資料の数学的な用語(座標、 y の値、増加量等)を用いて分かりやすく説明する場が必要です。

【資料の活用】

・不確定な事象の起こりやすさや起こりにくさを説明する際、全部の数と場合の数から、何を求めて数の大小がどのような意味をもっているのかを確認することが大切です。そのために、不確定な事象の起こりやすさ等について、根拠を示しながら説明し合う活動が重要です。

15 中学校 理科について（全27問）

(1) 概要

本市の平均正答率は、全国の平均正答率より、少し上回っています。

(2) 平均正答率からみた学力・学習状況の傾向

* □印は、良好な内容を示し、■印は、課題と考えられる内容を示しています。
「出題の趣旨」は、内容を要約して表記しています。

物理	<ul style="list-style-type: none">■ 光の反射の規則性についての知識・技能を活用できる。■ オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる。
化学	<ul style="list-style-type: none">□ ガスバーナーの適切な操作方法を身につけている。□ 探究課程を振り返り、新たな疑問をもって問題を見出せる。■ 条件制御の知識・技能を活用し、変えない条件を指摘する。
生物	<ul style="list-style-type: none">□ 神経系の働きについての知識を身に付けている。□ 植物の働きに関する知識を身に付けている。■ 複数ある要因のうち、変える条件に伴って、変化すること以外に変わってしまう条件があることを指摘できる。
地学	<ul style="list-style-type: none">□ 複数の情報を比較して分析し、解釈する。■ 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる。■ 蒸発と湿度に関する知識から、湿度の変化の原因を指摘する。

(3) 全体を通しての考察と授業改善の方向性

【物理】

・学習した内容を関連づけながら、日常生活に適用して考察することに課題が見られます。身近な物理現象から問題を見いだして自ら課題を設定し、見通しを持って観察・実験を行うことで、科学的に探究する能力や態度が育まれます。また、授業の中で、ものづくりを取り入れるなど、学習内容と日常生活との関連を図る活動が有効です。

【化学】

・結果を明確にするために、実験の条件を制御することに課題が見られます。結論を導くために必要な条件を選択する力を習得させるには、課題に対する予想や仮説を持ち、それを確かめるための観察・実験を自らが計画し、得られる結果についての見通しを持って観察・実験を実施することが効果的です。また、観察・実験の結果を踏まえて、予想や仮説、観察・実験の内容や方法を振り返る活動も大切です。

【生物】

・自然の事物・現象において、複数の要因が関連して変化する可能性を指摘することに課題が見られます。条件制御の知識・技能を習得させるには、考えさせたいポイントを絞り、様々な観察・実験を繰り返す中で、比較実験や対照実験の内容や方法を系統的に積み重ね、観察・実験の結果から、考察する力を育てることが大切です。

【地学】

・身の回りで起こる様々な自然現象を、空間と方位、時間の観点から捉えることに課題が見られます。空間概念を形成するためには、複数の情報をもとに視点を変換して、そのようすを認識できるようにすることが必要です。そのためには、図や写真上での観測者の視点を明確にしたり、ICT機器を活用した動画を用いて、観察の視点が連続的に移り変わっていくようすを確認したりしながら、学習を進めることが有効です。